

乳化

Emulsification

加熱システムによる融解乳化

通常の高圧乳化・分散装置は、水を媒体とした場合100℃を超える温度での処理は不可能であるが、本装置は180℃での処理を可能とした。



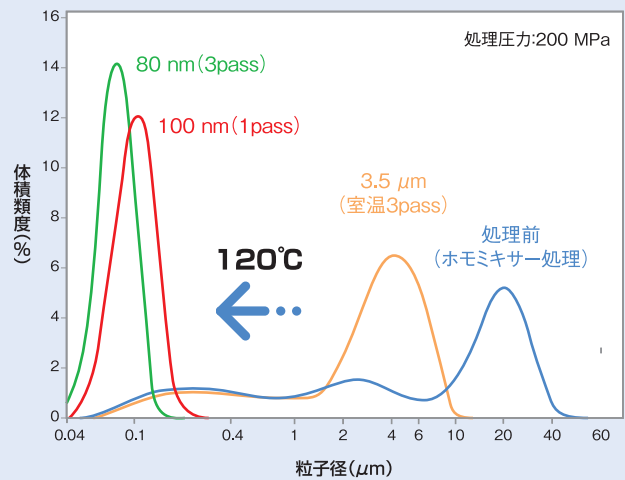
それにより、融点が常温～130℃程度までの樹脂、ワックス、油脂、セラミドなどを融解状態で超高圧乳化し、サブミクロン～ナノ領域にまで微粒子化することができる。

固形パラフィン(ワックス)



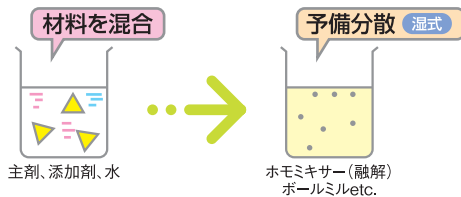
配合

固形パラフィン(m.p.68～70℃)	5.0 %
ステアリン酸	1.0 %
水酸化ナトリウム	0.1 %
精製水	93.9 %

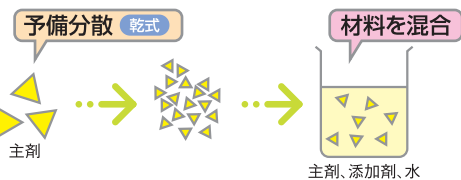


作業手順

ケース①



ケース②



Max.180℃
における
超高圧乳化・分散
システム

ナノ粒子分散液

システム構成

